

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【公開番号】特開2018-95959(P2018-95959A)

【公開日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2018-023

【出願番号】特願2017-227203(P2017-227203)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/34 (2006.01)

C 2 3 C 14/50 (2006.01)

H 0 1 L 21/677 (2006.01)

H 0 1 L 21/673 (2006.01)

B 6 5 G 49/02 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/34 K

C 2 3 C 14/50 E

H 0 1 L 21/68 A

H 0 1 L 21/68 U

B 6 5 G 49/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月24日(2020.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

密着シート38は、図6に示すように、平坦なシートであり、一方の面に第1の密着面38aを有し、他方の面に第2の密着面38bを有する。第1の密着面38aは、保持シート36の非粘着面36bに密着する粘着性のある面である。第1の密着面38aは、少なくとも貼付領域Sに対応する非粘着面36bの領域の全体に亘って密着している。貼付領域Sに対応する非粘着面36bの領域とは、貼付領域Sの真裏となる非粘着面36bの領域をいう。また、第1の密着面38aは、フレーム37に対応する非粘着面36bの領域にも密着している。つまり、第1の密着面38aは、フレーム37の真裏となる非粘着面36bの領域にも及ぶ範囲に密着している。本実施形態では、フレーム37、保持シート36、密着シート38の外形寸法が一致している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

(区切部)

区切部44は、スパッタ源4により電子部品10が成膜される成膜ポジションM1、M2、表面処理を行う処理ポジションM3を仕切る部材である。以下、成膜ポジションM1、M2を区別しない場合には、成膜ポジションMとして説明する。区切部44は、図3に示すように、搬送経路Lの円周の中心、つまり搬送部30の回転テーブル31の回転中心から、放射状に配設された方形の壁板44a、44bを有する。壁板44a、44bは、

例えば、真空室 2 1 の天井に、ターゲット 4 1 を挟む位置に設けられている。区切部 4 4 の下端は、電子部品 1 0 が通過する隙間を空けて、回転テーブル 3 1 に対向している。この区切部 4 4 があることによって、反応ガス G 及び成膜材料が真空室 2 1 に拡散することを抑制できる。